

米国ミズーリ州からの生きた家きん、家きん肉等の
輸入停止措置の解除について

平成 30 年 8 月 21 日

米国ミズーリ州において低病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、平成 30 年 3 月 6 日付けで同州からの生きた家きん、家きん肉等について輸入が停止されていたところですが、本日、米国家畜衛生当局から提供された情報により、同州における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、当該輸入停止措置を下記のとおり解除しました。

記

- 1 輸入停止措置を解除する対象地域
生きた家きん：ミズーリ州全域
家きん肉等：ミズーリ州の発生場所から半径 10km 以内の区域
- 2 輸入停止措置を解除する対象品目
 - (1) 本日以降に輸入停止措置を解除する対象地域で検疫を開始する生きた家きん（鶏、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥及びかも目の鳥類）及び本日以降にふ化したそれらの初生ひな
 - (2) 本日以降にと殺された家きんの肉、臓器等及びこれらの加工品
 - (3) 本日以降に採卵された家きんの卵及びその加工品
- 3 輸入停止措置を解除する対象地域由来の羽毛について、鳥インフルエンザの国内への侵入防止の観点から実施する輸入検査における消毒措置の対象から除外する。ただし、ニューカッスル病又は家きんコレラの発生地域から輸入される羽毛については、引き続き当該消毒措置の対象となる。